

東京大学での所属学部/研究科(教育部)・学年(プログラム開始時):

参加プログラム: 全学交換留学 派遣先大学: ソウル大学校

卒業・修了後の就職(希望)先: 1.研究職 2.専門職(医師・法曹・会計士等) 3.公務員 4.非営利団体
5.民間企業(業界:) 6.起業 7.その他()

派遣先大学の概要

ソウル大学校は韓国内で有数の学術レベルをもつ総合大学。ソウル市内には位置するものの、南端にあるため市の中心部からは離れている。また山のふもとから中腹にかけて位置するためキャンパスは非常に広大。留学生の数はそこそこいるが、中国をはじめとしてアジア地域からの学生が多い。

留学した動機

理系として1つの国に留まるより外国に出て別の視点を得ることが学部生でできる重要なことと位置付けているため、留学そのものには積極的でした。その上韓国朝鮮語を第二外国語として学習し、韓国文化への興味なども後押しし韓国への留学を思い立ちました。

留学の時期など

- ①留学前の本学での修学状況: 西暦2015年 学部3年の夏学期まで履修
- ②留学中の学籍: 留学
- ③留学期間: 2015年9月 ~ 2015年12月 学部3年時に出発
- ④留学後の授業履修: 西暦2016年 学部4年の夏学期から履修開始
- ⑤就職活動の時期: 行わない予定
- ⑥本学での単位数: 留学前の取得単位42.5単位 留学先で取得し、本学で単位認定申請を行う単位6単位
留学後の取得(予定)単位30単位
- ⑦入学・卒業/修了(予定)時期: 西暦2013年4月入学 西暦2017年3月卒業/修了
- ⑧本学入学から卒業/修了までの期間: 4年
- ⑨留学時期を決めた理由: 学部4年で留学した場合、東大の院に進学しない限り手続きや進学が複雑となることや4年での卒業ができなくなる可能性が高いため3年時に留学しました。当初は1年行く予定でしたが、東大での必修単位の都合上1学期のみでの留学となりました。

留学の準備

①留学先大学への入学手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)

基本的にはソウル大の国際部が指示してくれるのでそれに従って手続きしていけばよいので、特にこれといって気をつけることはないと思います。

②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)

韓国ビザは交換留学の場合D2ビザを取得する必要があります。当初ソウル大から送付された書類がビザ申請に不十分であることが発覚し、その後連絡を取って手配してもらおうといったこともありましたので早め早めに書類等は準備しておくよと思います。また韓国大使館とビザを発給する領事部の場所が違うので気をつけてください。

③医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)

大学の寮に入寮したい場合、必要な予防接種等を受けたくうえで健康診断書を提出する必要があります。

④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)

東大で加入した必須のもの以外は特に加入しませんでした。

⑤留学にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)

学部及び学科の事務とは手続きのすれ違いが起こらないよう頻りに連絡を取るようになりました。学部に留学届を申請し、そのうえで学部長が発行する留学許可書がビザ申請にも必要となるので前もって行いました。

⑥語学関係の準備(出発前の語学レベル・語学学習等)

英語(授業の受講言語)については一般的な英語学習程度で、韓国語はリーディングに力を傾注していたため会話力はそこまで高くなかったと思います。

⑦日本から持参の方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど

気候は夏と冬で大きく異なり気温差が非常に大きいので、暑い時期でも寒い時期でも大丈夫なように服装類を数多く持っていった方がよいと思います。

学習・研究について

①履修した授業科目のリスト(授業を履修した場合)

※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったもの(又は行う予定のもの)に●をつけてください。

● Atmospheric Dynamics 2

● Fluid Mechanics

②留学中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)

授業は講義中心でしたが課題の量は東大と比べて多かった印象です。概念的な内容が多かったため説明を長時間英語で聞く必要があり、それによって英語力は伸びたように思います。

③1学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間(授業時間・授業以外の学習時間)など

授業数は2つでしたが、1つの授業が3単位で週2回75分授業でした。授業によって多少変わるのでしようがおおよそこのスタイルです。授業がない時間の学習は、自主的に研究室に入っていたためそこで技術を身につけていました。

④学習・研究面でのアドバイス

英語で開講される授業は各学部それなりにある(国際系であればかなり多い)ので、とれるものは積極的に取っていくのがよいと思います。もちろん韓国語の能力が授業が聴講できるに達している場合は、制限なく授業をとれます。自分はオプション的に研究をやりましたが、専攻にもよるとは思います。チャンスがあればやってみることをお勧めします。

⑤語学面での苦労・アドバイス等

韓国人の友人や研究室に英語をネイティブとするメンバーもいたので意思疎通はあまり問題ありませんでしたが、専門用語は知らないものを新しく覚える必要があり苦労はありました。ただ学習については英語を使ってやっていたのでそこまで大変という感じではありませんでした。

生活について

①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)

大学内にある寮に入りました。4ヶ月の滞在で45000円程度と非常に安く入ることができます。しかし韓国は3月に学年が進むので9月から寮に入れる人数は限られています。ほとんどの人が寮に入れず大学の最寄り駅周辺でアパートなどを借りて過ごしていました。ただ大学の寮はものすごく古いです。

②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)

大学が広大なので、中の循環道路をシャトルバスが走っています。また大学の最寄り駅から大学はかなり遠いのでシャトルバスか路線バスを使う必要があります。ただ韓国は交通機関(バス・地下鉄・タクシー)が日本に比べて安いのので慣れてしまえばかなり便利だと思います。加えて食事も大体リーズナブルでバリエーションも豊富なので困ることはないです。私は大学内の寮にいたのでそこにある食堂で食事をよくとっていました。必要なお金は現地でも口座開設後に日本から一度だけまとまった金額(30万円弱)を送金してもらいました。韓国への送金は安い民間サービスも利用

できるので便利です。韓国はデリバリーでもクレジットカードが使えるくらいカード社会なので、ほとんどの人がクレジットカードかキャッシュカード(現地銀行)を使っています。私も現金はほぼ使わず現地の銀行(新韓銀行)のキャッシュカードで生計費は決済していました。

③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)

大学のまわりは治安が良く過ごしやすいです。ソウル市内の繁華街などでは一部危ないところもあると聞いたことはありますがそのような場面に遭遇したことはありません。医療機関は利用しなかったのでわかりません。夏に到着して冬に帰国したわけですが、ソウルは気温差が非常に激しく、夏は 30 度を軽く超えて猛烈な暑さとなりますが冬はマイナス 10 度程度まで下がることもあり、服装などに気を使って体調管理はきちんとしていました。

④留学に要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)

・毎月の生活費とその内訳

具体的にどのくらい使っていたかはきちんと記録をつけていないのでわかりませんが、食事は大学の寮で取れば 1 回あたり 200~450 円程度で定食が食べられます。寮費も前述の通り 4 ヶ月で 45000 円程度です(最初にデポジット 1 万円ほどが必要)。交通費は安く、日本の交通カード(スイカなど)と同じような T-money というのがあるのでそれを作るとバスや地下鉄をまぜて乗り換えても料金が同じだったりするので非常に便利です。

・留学に要した費用総額とその内訳

航空賃は荷物が多いことから LCC ではなく JAL を使ったため 6 万弱でした。片道で手配しても安く済む LCC などであればもう少し安く済むと思います。最終的に費用は 1 学期行って 40 万円もかかっていないです。物価が安く日本からの距離が近いことから、何かしら奨学金を取ればかなり金銭的負担を軽くしていくことができると思います。

⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)

東大から案内された JASSO の奨学金を受給していました。他にも奨学金は応募しましたが、最終的には JASSO のものとなりました。ソウルに留学する場合、月額 7 万円の支給となります。

⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)

ソウル大から案内されますが、ソウル大には SNU Buddy と呼ばれるサークル活動があり、これには多くの交換留学生とソウル大生が加入しています。会費は 4500 円程度だったかと思いますが、これに加入することにより韓国人の友人はもちろん他の留学生とも多く知り合うことができるためおすすめです。このサークルで日常的にランチを一緒にとったり、遊びに行ったり、時には遠くへ旅行へ行ったりしました。また個人的に友人たちとソウル市内をぶらぶら歩いて買い物をしたり観光をしたり、また釜山などの遠くの都市へも行きました。

派遣先大学の環境について

①留学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)

先述した SNU Buddy に入ると韓国人学生が 1 人 Buddy としてついてくれて可能な限りサポートしてくれます。また留学生も周りに結構いるので孤独感を感じることは無いと思います。また自分は研究室にいたので研究室メンバー(韓国人とインド人)も様々な場面でサポートしてくれました。

②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC 環境等)

図書館は非常に大きいのですが、どちらかというと勉強スペースが広いという感じです。ですが試験前ともなると全席埋まったりするので気をつけた方がいいです。寮に入っていれば寮内にも勉強部屋があるので夜遅くでも勉強できます。ジムなどのスポーツ施設も豊富にあります。私は寮の中にあつたジムに登録して利用していました。学内食堂もものすごい数ありますし、レストランやカフェ(カフェは韓国中あふれています)も多くあります。

留学と就職活動について

①(就職活動を既に行った場合)留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなど

就職活動は行っていません

②(今後就職活動を行う場合)留学が就職に対する考え方に与えた影響

就職活動を行う予定はありません

③留学中の就職活動への対策など(もしあれば)

特にありません

④就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください

- 1.研究職 2.専門職(法曹・医師・会計士等)(職名:) 3.公的機関(機関名:)
4.非営利団体(団体名又は分野:) 5.民間企業(企業名又は業界:)
6.起業(分野:) 7.その他()

留学を振り返って

①留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感

私は留学そのものが何か特別なものと考えたことはなく、自分のキャリアの一部として考えています。むしろ留学して何をしていくかということが大事だとずっと思っていたので、この留学ではできるだけ多くのことにチャレンジして色々なものを吸収しようと思いました。授業や国際交流といった当たり前のこと以外にも、研究室に入って見て韓国の理学研究の一端を知ったり日本との関係もある韓国での戦争について資料館などで学んでみたりとチャレンジしてきました。結局この留学での成長というと、当初の目標にも掲げていたように自己発信能力の向上が一番ではないかと思います。やはり日本とは違い自分から意見を言わなければ伝わらないということが非常に多く、そのたび語学力がそこまで高くないものの試行錯誤してコミュニケーションをとるとするのは非常に有益な経験だと思います。

②留学後の予定

とりあえずは学部卒業をしてその後は海外の大学院へ進学しようと考えています。特に韓国と絞っているわけではありませんが、やはり理学研究に必要な多面的な視点というのを身のまわりの環境を変えることにより得ていくというのも一つの方法と考えているからです。研究職希望のため、特にこれといった就職活動はないのですがこの留学は就職ではなくアカデミックなキャリアにいかしていけると自信を持っています。

③今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

先述した通り韓国での留学は金銭的負担もそこまで大きくなく行こうと思えば行けるところにあります。今日韓の関係が悪化していく中でもやはり韓国での留学を経て様々なことに気づかされました。歴史問題にしろ自分の専門分野にしろ結局行ってみないと何もわからない、ということを学んだ気がします。ですので少しでも留学に興味がある人は臆せずどんどんチャレンジすることで無限に物を吸収できるのではと思います。特に日韓関係はいよいよこれからというところですので将来性も高く楽しみながら留学ができると思います。

その他

①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

韓国の観光用の日本語サイトですが「コネスト」というサイトがあります。主に観光客向けに書かれていますが美容室など意外に日常生活で必要となる情報や交通機関の情報もわかりやすくまとめてあるので参照するとよいと思います。

②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(3ヶ月以上1年未満)

2016年 3月 8日

東京大学での所属学部・研究科等:	人文社会系研究科	学年(プログラム開始時):	博士1
参加プログラム:	全学交換留学	派遣先大学:	ソウル大学校
卒業・修了後の就職(希望)先:			
<input type="checkbox"/> 1.研究職 <input type="checkbox"/> 2.専門職(医師・法曹・会計士等) <input type="checkbox"/> 3.公務員 <input type="checkbox"/> 4.非営利団体 <input type="checkbox"/> 5.民間企業(業界:) <input type="checkbox"/> 6.起業 <input type="checkbox"/> 7.その他()			

派遣先大学の概要

派遣先はソウル大学校(冠岳キャンパス)です。自然豊かで、鳥のさえずりと学生の声が響き渡っています。

留学した動機

博士論文を見据え、現地調査を含む研究を一層進展させることが一番の動機です。韓国の学会の動向や現地の学風に親しむとともに、先生方や学生らと学んだり遊んだりすることも留学の目的です。学部3年(2010年)の秋学期にも一度ソウル大に留学していたのですが、当時できなかったこと、やり残したことをしたいとも思っていました。

留学の時期など

①留学前の本学での修学状況:	2015 年	博士1 年生の	冬	学期まで履修
②留学中の学籍:	留学			
③留学期間等:	2015 年	3 月~	2015 年	2 月
	博士1 年時に出発			
④留学後の授業履修:	2016 年	博士3 年生の	S1	学期から履修開始
⑤就職活動の時期:	年	年生の		月頃に
⑥本学での単位数:	留学前の取得単位		31.5	単位
	本学で単位認定申請を行う単位			単位
	留学後の取得(予定)単位			単位
⑦入学・修了(予定)時期:	2012 年	4 月入学	2017 年	3 月修了
⑧本学入学から修了までの期間:	5 年		ヶ月間	

⑨留学時期を決めた理由:

韓国では3月から学年が始まるので、春学期から1年の留学となるようにしました。留学に行くなら早い(若い)方がよい、年を重ねると留学したくてもできない理由が生じやすいとの助言も参考にしました。博士1年で必要な単位を揃え、ある程度の研究の方向性も定め、博士1年3月から留学に行くことにしました。

留学の準備

①留学先大学への入学手続き(手続きにあたってのアドバイス)

指示に従いオンライン申請します。書類の一部は国際交流課からソウル大学校へ郵送してもらいます。入学手続きや履修登録などオンライン申請する際、向こうの手違いでログインや申請ができないことがよくあります。早めに手続きを開始し、問題があったらソウル大OIAの担当の先生にメールで連絡するとよいです。

②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイス)

ビザの種類は留学(D-2-6)、申請先は韓国大使館です。書類提出後、数日で発給してくれたと思います。

③医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)

寄宿舍へ申請する際、X線検査を含む健康診断書と、はしかの抗体検査に関する証明書が必要でした。

④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)

東京海上日動の海外旅行保険に加入していました。1年分をカバーするもので約15万円でした。

⑤留学にあたって所属学部・研究科(教育部)で行った手続き(履修・単位・試験・論文提出等に関して)

留学許可願を提出しました。留学中は電子メールと国際郵便を活用して各種書類を提出していました。

⑥語学関係の準備(出発前の語学レベル・語学学習等)

出発前の語学レベルはKLAT 6級、ハングル検定 2級です。時間のあるうちに検定試験を受験しました。

⑦日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイス

個人的には、枕と毛布とベッドカバーが日本から持参してよかったものです。枕や毛布は寄宿舍のベットには備え付けられておらず、ベッドカバーはあることはありましたが、しわだらけで不衛生だったからです。電化製品を持参する場合は電圧変換プラグも一緒に持参する方が便利だと思います。

学習・研究について

①履修した授業科目のリスト(大学院の授業のみ抜粋)

※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったもの(又は行う予定のもの)に●をつけてください。

授業科目名	単位認定の申請	授業科目名	単位認定の申請
音声学研究1		韓国語と韓国文化2	
音声学研究2		現代韓国語研究	
韓国語音韻論演習		中世韓国語研究	

②留学中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)

<p>授業は講義に実習(実験)や演習(発表)を織り交ぜた形式でした。予習としては次回の授業で扱う論文に目を通したり、発表の準備をしたりしました。復習としては、関連論文の講読や資料の調査をしたり、自分の耳やコンピュータで観察・実験したり、学んだことや考えたことをノートに整理したりしました。授業の課題や自分の研究、共同研究にも取り組みました。学期末に試験や小論文が課されました。</p>
<p>③1学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間(授業時間・授業以外の学習時間)</p>
<p>1学期あたりの履修科目・単位数は3科目・9単位(1科目3時間)です。春学期は韓国語の授業(160時間)も受講していました。授業などのない時間帯を利用して学習・研究を行い、休日で補完していました。</p>
<p>④学習・研究面でのアドバイス</p>
<p>専門分野の予備知識があれば十分ついていけると思います。現地の学生に交じって韓国語で報告書を作成したり発表したりするのはもちろん大変でしたが、とてもいい経験になりました。学内の図書館や研究所で講習が開かれることも多いので、活用すると役立つことも多いと思います。</p>
<p>⑤語学面での苦労・アドバイス</p>
<p>留学を開始して間もない頃は、授業の発表や各種事務手続きで苦労することもありましたが、すぐに慣れました。日本語(母語)でできないことは外国語でもおそらくできません。語学は学習・研究・人間関係を豊かにしてくれる(が、手段にすぎない)ということも今回の留学を通じて改めて考えさせられました。</p>
<p>生活について</p>
<p>①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法)</p>
<p>学内の寄宿舎に住んでいました。大学院生用の棟で一人部屋です。家賃は月293,000ウォンです。寄宿舎には若干高め(大学周辺の考試院と同じくらい)です。寄宿舎は(学部生用や国際館のと比べると)きれいで清潔感がありました。洗濯機、乾燥機、乾燥室、キッチン、ウォーターサーバ等が共用です。ネット環境等も問題なく、静かで、研究に集中できました。宿泊先については入学手続きの際に案内があると思います。</p>
<p>②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード))</p>
<p>気候は日本と似ています。キャンパスは山岳部に位置し、市街地(地下鉄の駅)までバスで10分、徒歩で30分ほどかかります。学内には構内循環バス、シャトルバス、タクシー、タヨバス、リムジンバス等が乗り入れています。食事は学内にある学食、カフェ、パン屋、ファストフード店を主に利用しました。お金は日本円を現金で持参して現地で換金して通帳に貯金する以外に、万が一に備えて分散させて管理していました。</p>
<p>③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点)</p>
<p>大学周辺の治安はよい方だと思います。他は場所や時間によると思います。運転は割と荒いので、注意して歩いていました。風邪をひいたときに学内の保健診療所を受診しました(学生会館にあります)。韓国語か英語でやり取りをします。薬も処方してくれます。学生会館には薬局もあります。</p>
<p>④留学に要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)</p>
<p>・毎月の生活費とその内訳</p>
<p>家賃：293,000ウォン、食費：約250,000ウォン、交通費：約20,000ウォン(交通カード(T-money)を使用していました)、通信費：10,000ウォン(プリペイド式の携帯電話を(学生会館内のお店で)契約していました)</p>
<p>・留学に要した費用とその内訳(毎月の生活費以外)</p>
<p>航空賃：約20万円(一時帰国や荷物超過料を含む)、授業料：1,852,000ウォン(東大の授業料を除く)、教科書代：約10万円(教科書以外の文献の購入費・複写費、文献以外で学習・研究に使った諸費用を含む)</p>
<p>⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法)</p>

<p>JASSOによる全学交換留学派遣用奨学金を受給していました。支給額は月額7万円です。</p>
<p>⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方)</p>
<p>ソウル市内外の観光、演劇等の芸術鑑賞、(古)書店・博物館巡り、ウインドーショッピング、大学構内とその周辺の散歩などをしていました。現地の知人に日本語会話などを教えたり、友人と食事に行ったりもしていました。長期休暇は留学中にしかできない勉強・研究に挑戦しました。</p>
<p>派遣先大学の環境について</p>
<p>①留学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)</p>
<p>全学交換留学プログラム全般のことについてはソウル大OIA(東大の国際交流課に相当)の先生がいろいろな面でサポートしてくださいます。授業では留学生ということで(純粋な)語学レベルの面では配慮してくれるという印象です。基本的には現地の学生と同じようにサポート等をしてくださいます。留学生対象の韓国語クラスがあります。Buddy制度もあります。</p>
<p>②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等)</p>
<p>中央図書館の他、各研究室・研究所に文献が所蔵されています。早めに図書館講習を聴講するとよいと思います。スポーツ施設は学内に数か所あります。食堂、喫茶店、パン屋、ファストフード店、コンビニなどは学内にたくさんあります。図書館や電算室の他、自習室等にもPCが備わっています。ネット環境も問題ないという印象です。</p>
<p>留学と就職活動について</p>
<p>①(就職活動を既に行った場合)留学が就職活動に与えた影響</p>
<p>就職活動は行っていません。</p>
<p>②(今後就職活動を行う場合)留学が就職に対する考え方に与えた影響</p>
<p>いろいろな人と会う中で、自分がやりたいことだけではなくて、やるべきこと、貢献できること、適性があるかということも考えるようになりました。ほぼ同世代の学友や先生方以外にも、主婦層・定年層の学友など、本当に多くの良い出会いに恵まれたと思います。</p>
<p>③留学中の就職活動への対策など(もしあれば)</p>
<p>特にありません。</p>
<p>④就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください</p>
<p>()1.研究職 ()2.専門職(法曹・医師・会計士等)(職名:) ()3.公的機関(機関名:)</p> <p>()4.非営利団体(団体名又は分野:) ()5.民間企業(企業名又は業界:)</p> <p>()6.起業(分野:) ()7.その他()</p>
<p>留学を振り返って</p>
<p>①留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感</p>

実際に留学して、現地で生活しながら現地の人と付き合ってみなければ分からないことがたくさんあります。同様に、現地で出会った留学生から得ることも多いです。留学中の悲喜交々とした経験が、自分自身のこと（人格、価値観、人生設計など）を見直し、成長させてくれるのではないかと思います。

②留学後の予定

研究を進めて論文を執筆します。職も探していきます。機会があればまた海外で研究・生活したいです。

③今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

感受性豊かな若いうちの方が大きな感動を味わえると思います。例えば、楽しみが倍なら辛さも倍になって返ってくるということです。意志あるところに道は開けると言います。思いっきり楽しんできてほしいです。

その他

①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

ソウル大学校中央図書館(<http://library.snu.ac.kr/>)では図書・論文の検索、図書貸出の予約・延長、講習会の予約などができます。ソウル大学校ポータルmySNU(<http://my.snu.ac.kr/mysnu/>)では証明書発給、電子メール、授業掲示板などが利用できます。ソウル大学校履修登録システム(<http://sugang.snu.ac.kr/>)は授業シラバスを(詳細検索から)過去に遡って確認することもできて有用です。

②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。

特にありません。